

第54期
第2四半期株主通信

平成26年4月1日から平成26年9月30日

TAKAMAZ

高松機械工業株式会社

[証券コード6155]

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成26年9月30日をもって第54期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日)を終了いたしましたので、ここに営業の概況ならびに第2四半期決算の状況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 高松 喜与志

■ 当第2四半期連結累計期間の市場動向および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や生産の回復遅れが見えつつも緩やかな景気回復を継続してきましたが、世界経済の減速懸念や急激な円安の影響から、先行きの見通しは不透明な状況で推移してきました。

工作機械業界は、内需では補助金や政策税制措置の効果から中小企業が設備投資に前向きになり、外需ではアメリカが好調を維持する中でヨーロッパやアジアが回復してきたことで、平成26年度第2四半期の業界受注総額は7,616億円(前年同期比35.4%増)と、高い水準で推移してきました。

このような環境の中で当社グループは、主力の工作機械事業において、日系ユーザの海外進出や現地の経済回復・成長によって需要拡大が見込まれる海外市場への対応強化と、生産の最適化および効率化による増産に取り組んできました。

中国、タイおよびインドネシアでは、積極的な営業活動と迅速なサービス・メンテナンスを提供するとともに、多くのディーラやユーザを招待したプライベート・ショーを開催することで、

TAKAMAZブランドの浸透と評価向上に努めてきました。中国では、生産合弁子会社の杭州友嘉高松機械有限公司が設立10周年を迎えたことによる記念プライベート・ショーを開催しました。販売子会社の喜志高松機械(杭州)有限公司も協賛し、友嘉高松製品や当社製品を紹介しました。

アメリカでは、自動車関連産業を中心に好調なアメリカ市場にて積極的な営業活動を行い、ヨーロッパでは、需要の回復に対応して展示会などで新製品や技術をアピールし、引合・受注の確保に努めてきました。

国内では、大手ユーザだけではなく、設備投資意欲が回復してきた中小ユーザに対しても、最適な加工方法と自動化ラインや新製品を積極的に提案し、受注獲得をはかってきました。

受注が好調に推移し、本社工場はフル稼働していますので、組立ラインの見直しや設計・加工等の効果的な外注化などに取り組んで増産をはかってきました。また、年初計画どおりに精密加工室の移設・拡張工事やマシニングセンタ等の新規導入を進めてきました。

IT関連製造装置事業においては、適切な生産対応の実施や、幅広い情報収集と新規分野の市場開拓をはかり、自動車

部品加工事業においては、先行投資による生産体制の強化や積極的な営業活動を推進してきました。

以上のような営業活動を行ってきた結果、工作機械受注高が前年同期比20.9%増の73億51百万円、売上高が同32.7%増の85億91百万円となりました。利益は、営業利益が5億71百万円、経常利益が5億78百万円、四半期純利益が3億57百万円と、前年同期よりも増収増益となりました。

■ 今後の見通し

日本経済は緩やかに回復を続けてきましたが、その勢いは予想より弱いものとどまりました。また、海外経済もアメリカが好景気を維持しているものの、ヨーロッパやアジアでは景気減速の兆候があることから、日本の景気に対する先行き見通しは楽観論が薄れ、不透明感が強まっています。

一方、工作機械業界は、楽観視はできないものの、国内の設備更新や生産の海外シフトによる自動車関連産業の設備投資が継続し、工作機械需要は堅調に推移するとみられています。

当社グループでも、工作機械需要が今後も期待が持てる状況にあることから、海外市場拡大のための海外対応力強化をはかりつつ、国内市場・海外市場それぞれの地域に適した積極的な営業活動を展開していきます。

タイでは、既存ユーザのリピート受注獲得と新規ユーザの開拓を推進し、インドネシアでは、まだまだ低いタカマツの知名度を向上させていきます。

中国では、当社、喜志高松機械および友嘉高松機械の連携によって市場拡大に努めるとともに、増え始めている自動化ニーズへの対応強化をはかっていきます。

アメリカでは、好調な自動車関連産業はもちろん、その他産業からの受注確保もはかり、メキシコでは、タイムリーな情報収集に努め、販路拡大をはかります。

ディーラに対しては、製品への知識と理解を深めるための定期的なプレゼンテーションなどを実施して連携を強化するとともに、当社製品を取り扱う新規ディーラの開拓を推進することで、販売体制を拡充していきます。

国内市場では、当社グループの得意とする自動化技術・ノウハウをもってユーザニーズに沿った設備を提案し、今後も増加が見込める設備更新需要の掘り起こしと確保に努めていきます。

また、現在は上期の好調な受注から受注残が多くなっていますが、効果的な外注製作の推進や設備投資、人材育成などの実施によって増産体制を構築することで、製品提供までのリードタイムを短縮し、更なる受注獲得につなげていきます。

IT関連製造装置事業においては、改善傾向が見える半導体向け需要に対して適切に生産対応し、自動車部品加工事業においては、不良のない高品質な製品提供の継続と引合案件を受注につなげるための適切な活動を推進していきます。

当社グループは、一丸となって上記のような取り組みを推進して目標の達成をはかり、更にはそれを上回る成果の実現に向けてまい進していく所存でありますので、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年12月

トピックス

機械工業デザイン賞受賞

日刊工業新聞社主催の第44回機械工業デザイン賞にて、当社の「XW-130」が審査委員会特別賞を受賞しました。

機械工業デザイン賞は、機能・性能・造形面などにおいて総合的に優れた新製品を表彰するものであり、高い生産性をコンセプトに開発した当製品の生産能力が、業界トップクラスであると評価されました。



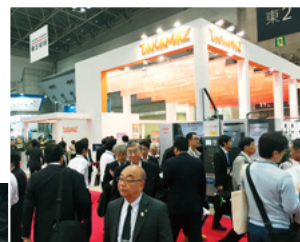
受賞した「XW-130」



国内、海外での展示会に出展

平成26年9月、アメリカ・シカゴで2年に1度開催される世界最大規模の展示会「IMTS2014」に出展しました。来場者数は10万人を超える過去最大の展示会となり、当社ブースも大盛況でした。

また、翌10月には東京ビッグサイトで行われた「JIMTOF2014」にも出展し、積極的なPRを行いました。



家族工場見学会を実施

当社の創業65周年を記念し、平成26年8月に社員の家族を対象にした工場見学会を行いました。

社員自らが工場や事務所を案内し、家族に日頃の職場の様子を見学してもらいました。



タイ王国文部省視察団が来社

平成26年7月、タイ王国文部省の幹部と同国の工業系専門学校の校長ら13名が本社に訪れ、当社の業務内容や社員教育の様子を視察されました。



職場紹介 =海外編= (タカマツマシナリーヨーロッパ)



タカマツマシナリーヨーロッパ(以下、TMEといいます)は、ドイツのデュッセルドルフ空港から車でおよそ1時間のところにある、オベラートという街にあります。オベラートの近くには、ユネスコ世界遺産にも登録されているケルン大聖堂が有名な街、ケルンがあります。

TMEメンバーは、当社社員3名と現地採用の女性事務員1名の計4名で、機械の販売からアフターサービスまで全ての業務を行っており、西はスペインやポルトガル、東はロシアまで広範囲にわたって、日々営業活動に励んでいます。

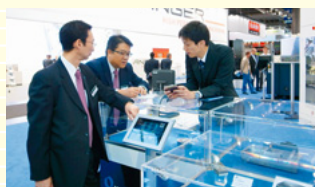
海外の現地法人の中では少人数のチームですが、日々の報告や連絡を密に行うなど、お互いに意思疎通をはかって、チームワークを大切にしています。

ヨーロッパ地域への進出としては、平成8年10月に駐在事務所を立ち上げ、平成21年3月に現在の現地法人としてTMEを設立しました。

ショールームでのプライベート・ショーや、ディーラ向け定期セミナーの開催、また、「EMO(ドイツ・ハノーバー)」、「BIMU(イタリア・ミラノ)」といったヨーロッパ各地で行われる展示会への積極的な参加など、本社メンバーと協力し合いながら営業活動に取り組んでいます。

ヨーロッパでは、TAKAMAZブランドの知名度はまだまだ高くありません。「タカマツといえば工作機械の一流ブランドだ」とヨーロッパ全域に認識してもらうためにも、1台でも多くの製品を販売し、お客様にとって“かゆいところに手が届く”ような、気持ちのいいアフターサービスを徹底することが重要です。当社が得意とする「オンリーワンの提供力」を最大限に発揮し、お客様一人ひとりにTAKAMAZブランドを気に入ってもらうことが、何よりも大事なのです。

TAKAMAZブランドの成長を夢見て、TMEメンバーは今日も元気に飛び回っています。

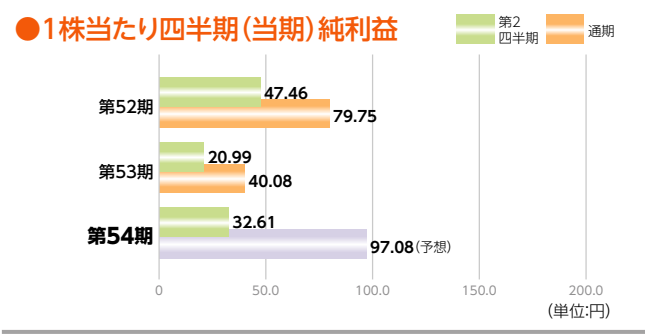
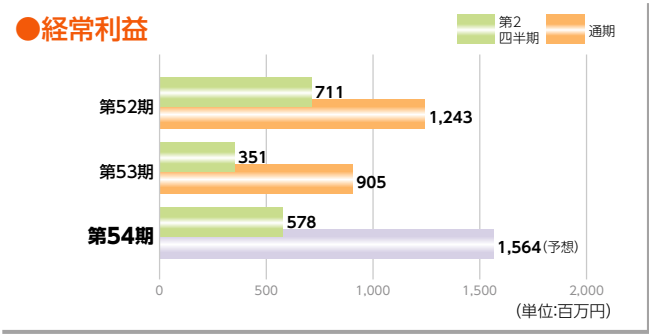
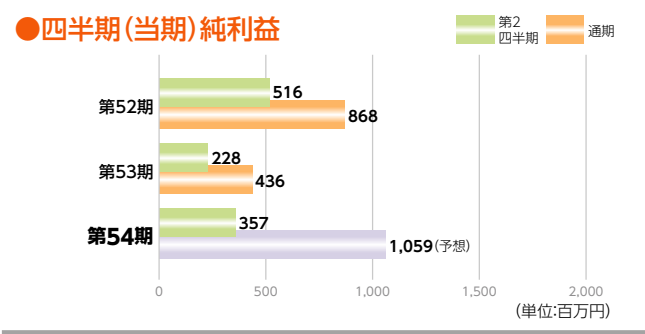
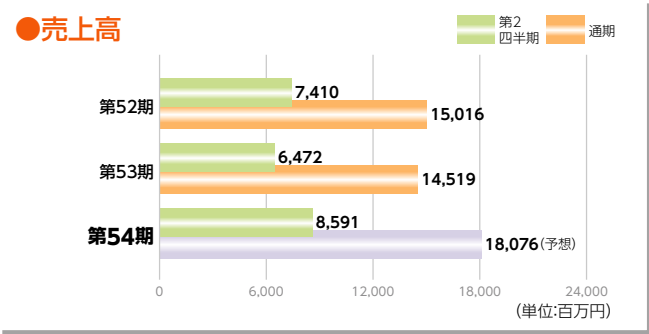


業績の推移

連結業績ハイライト

科 目		第52期 (平成24年度)	第53期 (平成25年度)	第53期第2四半期 (平成25年度)	第54期第2四半期 (平成26年度)
売上高	(百万円)	15,016	14,519	6,472	8,591
営業利益	(百万円)	1,079	737	267	571
経常利益	(百万円)	1,243	905	351	578
四半期(当期)純利益	(百万円)	868	436	228	357
純資産額	(百万円)	9,560	10,241	9,880	10,382
総資産額	(百万円)	16,499	17,845	16,595	18,687
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	79.75	40.08	20.99	32.61
1株当たり純資産額	(円)	876.40	937.99	905.70	944.40

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



第2四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	前期末 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成26年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,758	12,620
現金及び預金	3,700	3,610
受取手形及び売掛金	5,366	5,743
商品及び製品	414	522
仕掛品	959	1,318
原材料及び貯蔵品	811	1,028
その他	511	411
貸倒引当金	△ 5	△ 13
固定資産	6,087	6,067
有形固定資産	4,524	4,554
建物及び構築物(純額)	1,496	1,523
土地	2,287	2,287
その他(純額)	740	743
無形固定資産	204	181
投資その他の資産	1,359	1,331
その他	1,360	1,367
貸倒引当金	△ 1	△ 36
資産合計	17,845	18,687

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	前期末 (平成26年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成26年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	5,696	6,413
支払手形及び買掛金	3,650	4,453
短期借入金	948	948
未払法人税等	261	277
賞与引当金	174	242
役員賞与引当金	31	16
製品保証引当金	29	33
その他	601	440
固定負債	1,907	1,891
長期借入金	949	840
役員退職慰労引当金	326	351
退職給付に係る負債	379	534
その他	251	164
負債合計	7,604	8,305
(純資産の部)		
株主資本	9,779	9,996
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,822	1,818
利益剰余金	6,166	6,355
自己株式	△ 45	△ 11
その他の包括利益累計額	453	383
その他有価証券評価差額金	129	138
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	253	181
退職給付に係る調整累計額	71	62
新株予約権	6	—
少数株主持分	2	2
純資産合計	10,241	10,382
負債純資産合計	17,845	18,687

第2四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前第2四半期累計 (自 平成25年4月 1 日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成26年4月 1 日 至 平成26年9月30日)
売上高	6,472	8,591
売上原価	4,866	6,454
売上総利益	1,605	2,136
販売費及び一般管理費	1,338	1,564
営業利益	267	571
営業外収益	91	26
営業外費用	8	19
経常利益	351	578
特別利益	1	3
特別損失	1	0
税金等調整前四半期純利益	351	582
法人税、住民税及び事業税	126	274
法人税等調整額	△ 4	△ 49
少数株主損益調整前四半期純利益	228	357
少数株主利益	0	0
四半期純利益	228	357

(注) 各計算書において、記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結包括利益計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前第2四半期累計 (自 平成25年4月 1 日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成26年4月 1 日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	228	357
その他の包括利益	167	△ 70
その他有価証券評価差額金	22	9
繰延ヘッジ損益	△ 0	0
為替換算調整勘定	66	△ 27
退職給付に係る調整額	－	△ 8
持分法適用会社に対する持分相当額	78	△ 44
四半期包括利益	396	286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395	286
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前第2四半期累計 (自 平成25年4月 1 日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計 (自 平成26年4月 1 日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	238	225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,135	△ 400
財務活動によるキャッシュ・フロー	418	△ 178
現金及び現金同等物に係る換算差額	51	△ 20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 426	△ 374
現金及び現金同等物の期首残高	1,906	2,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,480	2,068

株式の状況 (平成26年9月30日現在)

株式の状況

①発行可能株式総数……………

②発行済株式総数……………

③1単元の株式数……………

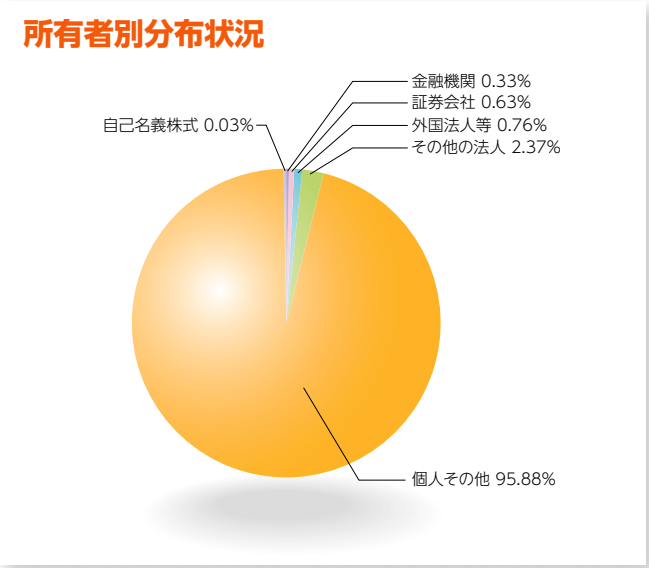
④株主数……………

30,000,000 株

11,020,000 株

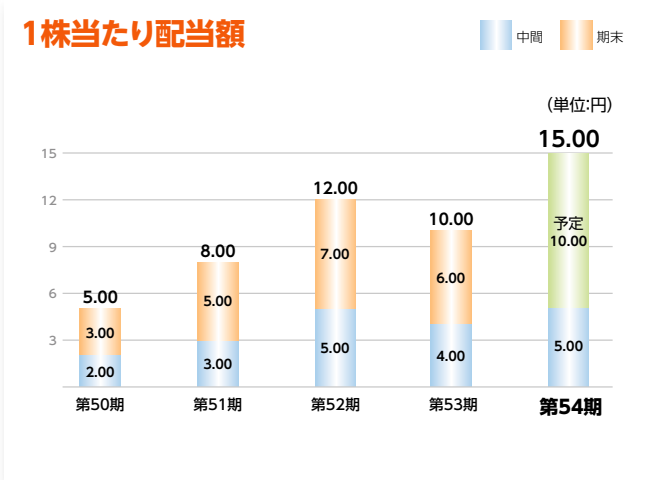
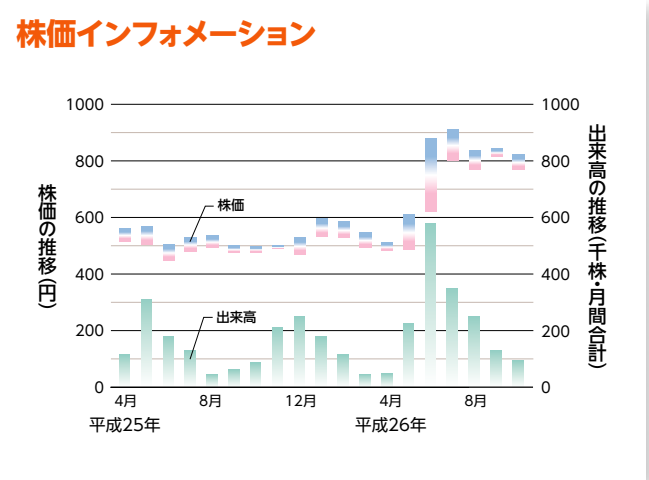
100 株

3,031 名



大株主

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	898	8.16
株式会社タカマツ	810	7.35
北国総合リース株式会社	433	3.93
日本生命保険相互会社	432	3.92
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	411	3.73
株式会社北国銀行	408	3.70
高松機械工業社員持株会	401	3.64
明治安田生命保険相互会社	360	3.27
株式会社朝日電機製作所	339	3.08
三井住友海上火災保険株式会社	333	3.02



会社の概要 (平成26年9月30日現在)

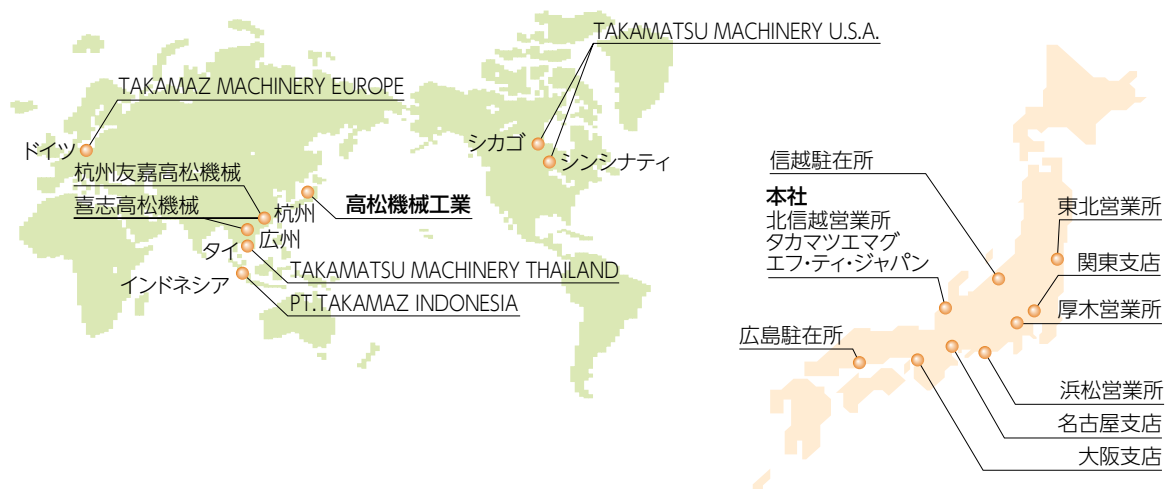
会社概要

商号 高松機械工業株式会社
設立 昭和36年7月
資本金 18億3,539万円
本社 石川県白山市旭丘1丁目8番地
従業員数 454名
子会社および関連会社 TAKAMATSU MACHINERY U.S.A., INC.
TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTD.
TAKAMAZ MACHINERY EUROPE GmbH
喜志高松機械(杭州)有限公司
PT.TAKAMAZ INDONESIA
株式会社タカマツエマグ
杭州友嘉高松機械有限公司
株式会社エフ・ティ・ジャパン
ホームページアドレス <http://www.takamaz.co.jp>

役員 (平成26年10月1日現在)

代表取締役社長	高松喜与志
代表取締役副社長	高松宗一郎
専務取締役	前田充夫
専務取締役	中西与平
常務取締役	溝口清
取締役	宮川隆
取締役	徳野穰
取締役	中川進
取締役	磯部稔
取締役(社外)	中西祐一
常勤監査役	池上佳信
監査役(社外)	鍛冶敏弘
監査役(社外)	杖村修司

ネットワークとサービス体制



アンケートのご報告

単元株主様の第53期株主通信に同封しました「株主アンケート」におきましては、
たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。
アンケートの集計が完了しましたので、その一部ですがご報告させていただきます。

単元株主数	2,147名
アンケート回答数	587名
アンケート返信率	27.3%

●第53期株主通信についてお聞かせください。

(1) 株主通信の内容は分かりやすいものでしたか？

分 かり や す い	65.4%
どちらともいえない	18.1%
非常に分かりやすい	12.4%
分 かり に く い	0.7%
非常に分かりにくい	0.3%
無 回 答	3.1%

(3) 今回は「女性開発者の声」の記事を掲載しましたが、 今後も社員の声の特集があったほうが良いと思いますか？

あったほうが良い	65.9%
どちらでも良い	24.5%
特 に 必 要 な い	2.4%
無 回 答	7.2%



(2) 株主通信の中でどの記事に興味を持たれましたか？(複数回答可)

業 績 の 推 移	48.6%
女性開発者の声	37.3%
トップに訊く(Q&A)	33.0%
職 場 紹 介	16.2%
ト ピ ッ ク ス	14.1%
連 結 財 務 諸 表	12.6%
無 回 答	3.6%

貴重なご意見をいただきありがとうございました。
株主の皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、
企業価値の向上およびIR活動の拡充に努めてまいります。
今後とも更なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業所



本社工場(工作機械事業)



本社工場 航空写真



第2工場(コレットチャック生産)



第3工場(自動車部品加工)



開発センター(IT関連製造装置)

製品のご紹介



NEW XW-130M

機械工業デザイン賞を受賞した「XW-130」に、待望の複合加工機能を追加搭載！
これまで別の機械で行っていた加工も一貫して行える、自動化ラインの構築が可能になりました。



NEW XW-30PLUS

従来機の省スペースを活かし、さらに幅広い加工ができるようになりました。
自動車部品業界向けの製品の中でもリーダー的存在として他社を抑え、多くの受注を獲得している人気機種です。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月中
株主確定基準日 (1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<http://www.takamaz.co.jp>
上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部
お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410〈直通〉
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。



TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

ホームページ <http://www.takamaz.co.jp>



このパンフレットは再生紙を使用しています。
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

